

学年	教科等	題材名	日時
第1学年	特別活動	ことしのもくひょう	令和5年1月16日(月)5校時

○ 子どもの姿からの報告



【研究内容1：キャリア・パスポートの活用の在り方について】



発表している人の方に体を向けて聞いている2年生をお手本にしたいなと思ったよ。



2年生になるまで、たくさん時間があるから、今のうちでできることをがんばりたいな。

事前の活動で、2年生の学習の様子を見学した。その際の子どものつぶやきや、子どもがメモしたことを基に、多くの子どもが気付いていた2年生の姿が分かる写真を提示することで、お手本にしたい2年生の姿を具体的に発言する姿が見られた。

2年生でめざす姿を意思決定する時期を1月に設定することで、1年生のうちにその姿に近付くために、これからの日常生活をよりよくしようとする発言が見られた。

【研究内容2：子どもの実態に合わせた評価規準の設定の在り方について】

② ふりかえりをしよう。

知・技	1	なりたいすがたを見つけるためには、どのようなことをすればよいか わかった。	☆☆☆☆☆
思・判・表	2	2ねん生で なりたいすがたを きめることができた。	☆☆☆☆☆
態度	3	「きらきら」にちかづくために、これから2ねん生にむけて がんばりたいと おもった。	☆☆☆☆☆

わかったこと

ふりかえり

知識及び技能にかかわるふりかえり

わかったこと なりたいすがたを見つけるにはかこをふりかえればいいんだなとおもいました

思考力・判断力・表現力等にかかわるふりかえり

わかったこと ① まだまだ2ねん生になるまでじかしかの力はあんなに強くないのが大いなんだなとおもいました。

2 第1学年3組の題材の評価規準		
学級活動③ イ		
よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自分のやるべき勉強や仕事にはどのようなものがあり、しっかり行うことの意義を自覚し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	やるべきことをしっかり行うことについての課題を知り、自分に合った目標等について話し合い、自分の成長への願いをもち、これからの生活への目標を意思決定している。	「一人一人が輝く」ために、2年生の姿を具体的に見通しながら、自分のできることを生かし、実践への興味・関心を高めながら、意欲と自信をもって実践しようとしている。

本時で扱った学習プリントに、自己評価を行う欄を設けた。その際に、評価規準の表現を基に自己評価する内容を設定した。また、本時の終末では、分かったことをふりかえらせ、学習プリントに記述させた。その記述や自己評価を評価規準の観点で分析し、本時の目標に対するより具体的な評価をすることができた。

○ 考察

- 研究内容1について、事前の活動で、2年生の学習の様子を見学し、お手本にしたい2年生の姿に着目させることで、「発表している人の方に体を向けて聞く。」等、めざす姿を具体的に意思決定し、キャリア・パスポートに記述する姿が見られた。
- 研究内容1について、2年生になるまでの期間が長いことを、教具を用いて実感させることで、1年生のうちにできることをがんばりたいという意欲をもたせることができた。
- 研究内容2について、子どもの自己評価やふりかえりを評価規準と照らし合わせて分析し、評価することが大切であることが分かった。そのため、子どもと自己評価の理由について対話したり、記述した内容を十分に吟味したりしたうえで評価する必要がある。